

中郡地域コミュニティプラン

第1期（二〇一九～二〇三三年度）

集い つながり 支え合うまち 中郡



中郡地域コミュニティ協議会

目次

- はじめに 1
- 1 校区の概要
 - (1) 校区の位置 2
 - (2) 校区の人口 3
 - (3) 校区の歴史 4
 - (4) 近隣の環境と主な施設 6
- 2 地域の声を聞いてみました 8
- 3 協議会の組織・構成団体 9
- 4 まちづくりスローガン・
運営方針 10
- 5 チームの現状と課題 11
- 6 協議会の活動体系 14
- 7 協議会の活動計画 15

< 資料 >

- 1 策定までの経過
- 2 プラン策定チーム部会委員名簿



はじめに（策定のねらい）

中郡校区においては、住民同士のふれあいも盛んで、町内会や校区公民館運営審議会などの地域コミュニティ組織が取り組む青少年健全育成やふるさとづくり等に住民みんなが協力して参加し、住みよい地域を築いてまいりました。

しかしながら、近年、少子高齢化や核家族化が進行する中で、本校区においても、住民のライフスタイルや価値観も変化し、地域の活動への参加が減るなど、人と人、人と地域との絆が弱まりつつあると言われております。

そのような中、私たちは、町内会等が一層連携し、地域の絆をさらに深め、「共助」の力を発揮できる地域づくりを推進するため、中郡小学校区を単位に地域コミュニティ協議会の設立に向けた協議を重ね、平成29年11月23日に「中郡地域コミュニティ協議会」を設立いたしました。本協議会では、これまで校区公民館運営審議会などが熱心に取り組んできた地域活動を基盤に、新しい活動や住民ニーズにも目を向けながら地域社会づくりに取り組み、人と人、人と地域との「絆」をさらに深め、安全で快適な地域社会づくりを目指したコミュニティプランの策定について協議して参りました。

本日、ここに、住民一人一人が「集い つながり 支え合うまち 中郡」を目指し、2019年度～2023年度の5ヶ年に係る「第1期 中郡地域コミュニティプラン」を策定するものです。

※ 本プランは、5年ごとに見直しを図るものです。

平成31年3月

中郡地域コミュニティ協議会

会長 寶來 良治

(1) 校区の位置

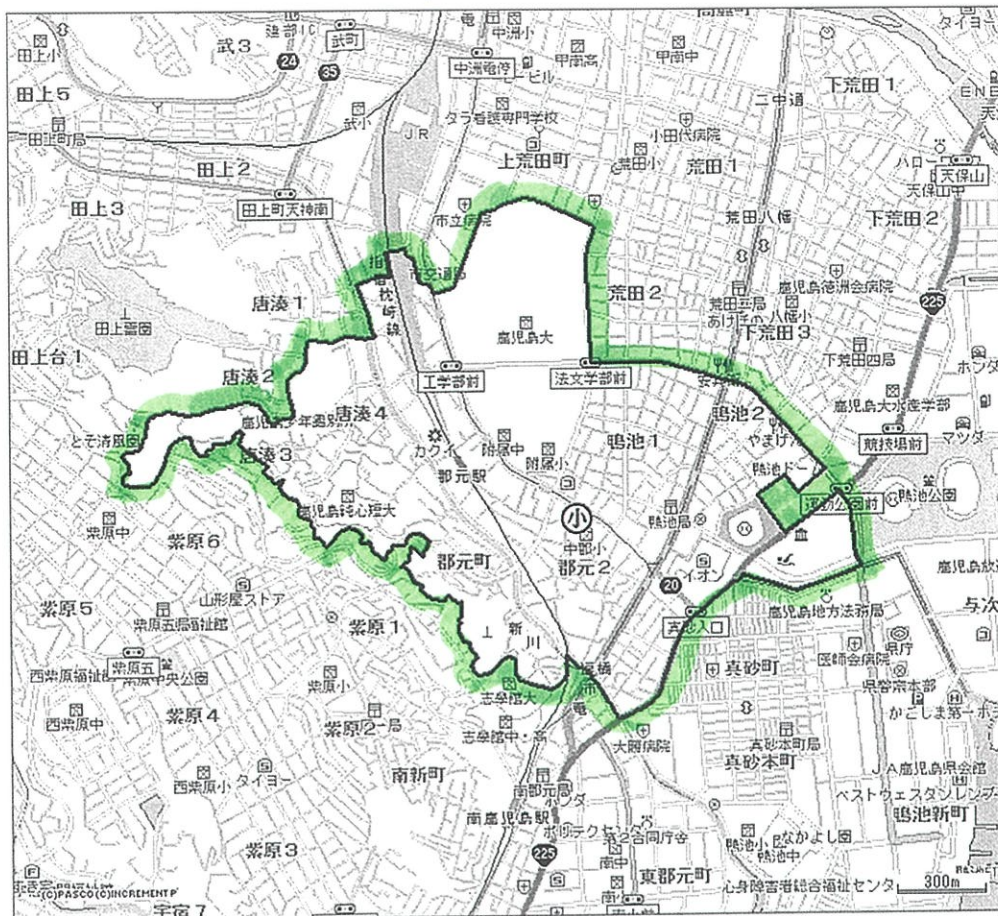


中郡校区は唐湊・鴨池・郡元の3つの地域に分かれており、市電やJR、国道などが通り、大型スーパー、市・県の公共施設、大学等設置され、にぎわいを見せています。

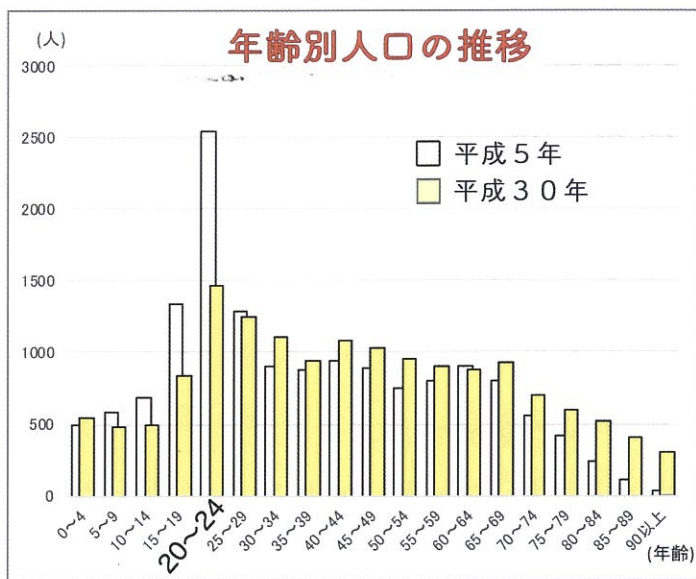
中郡小南側に約1100年前に建てられたといわれる「一之宮神社」があります。境内には約2000年前の遺跡といわれる「一之宮遺跡」があり、住居跡や土器石器等が発見されていることから、校区は古い時代から暮らすのに都合の良い場所であり、明治の頃までは水田の広がる地帯でもあったようです。

また、藩政時代には財政を支える重要なところであり、屋敷跡や処刑場跡、様々な実験所や精練所跡紡績所跡などでその面影を見ることができます。

校区には、数多くの史跡や遺跡、記念碑等が残されており、現在の様子からは想像できない歴史を持つ校区といえます。



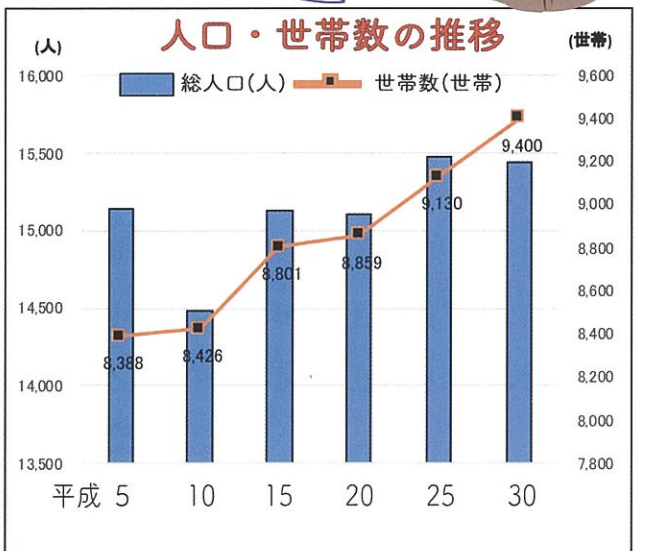
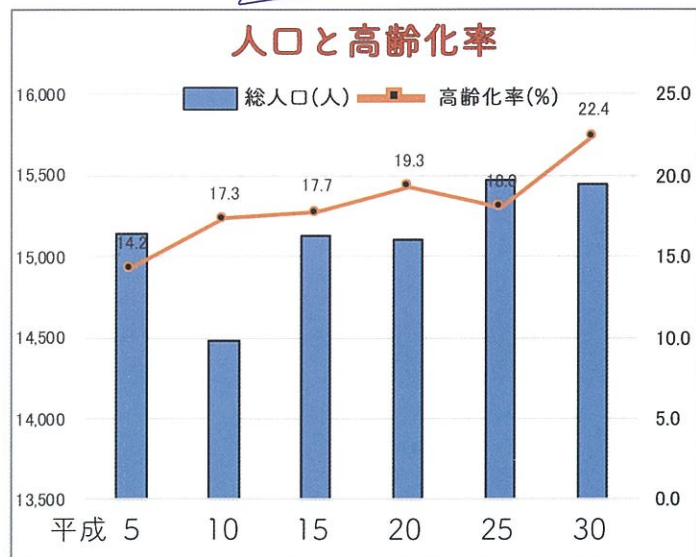
(2) 校区の人口



平成5年までは、
団塊の世代の子どもたちが
多かったのかな

平成5年は8.6水害が
あった年でもあるね

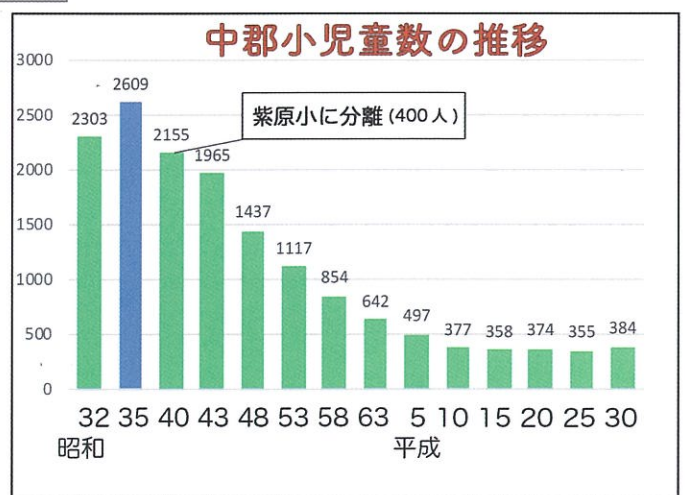
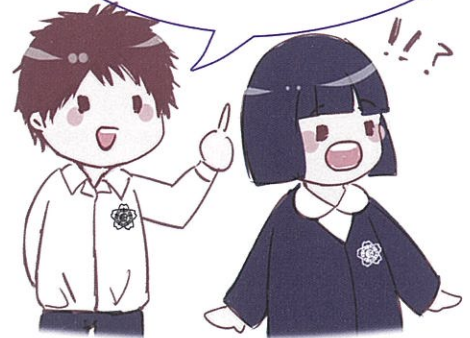
少子高齢化は
中郡地区も例外なし!



平成10年頃からは
少しずつ人口も世帯数も
増えています

マンションも
増えてきました

昭和35年頃は
子どもが2600人も
いたんだよ



(3) 校区の歴史

- 約 2000 年前 一之宮、鹿児島大学のあたりに人々が住んでいた
(一之宮遺跡)
- 約 1100 年前 一之宮神社が建てられる
その頃の郡元地区は鹿児島地区の政治の中心地だった
- 1806 年 (江戸時代) 田上川の流れを変えて新川ができ、約 400 ヘクタールの田畑が生まれる
- 1879 年 (明治 12 年) 郡元小学校・中村小学校ができる
- 1884 年 (明治 17 年) 郡元小学校と中村小学校が合併して共進小学校となる
- 1892 年 (明治 25 年) 今の場所に校舎を建て、壬辰尋常小学校となる
- 1911 年 (明治 44 年) 中郡尋常高等小学校となる
- 1912 年 (大正 1 年) 市電谷山線が全線開通する
- 1913 年 (大正 2 年) 中村に競馬場ができる
馬の競争だけではなく人間の競争も行われ、小学生の
鹿児島オリンピックと呼ばれた
- 1916 年 (大正 5 年) 中村に九州で初めての動物園ができる
- 1947 年 (昭和 22 年) 校名が中郡小学校となる



-
- 1950年（昭和25年）鴨池小学校ができて校区が分かれ約900名が移る
- 1957年（昭和32年）鹿児島（鴨池）空港ができる
- 1959年（昭和34年）市電唐湊線が全線開通する
中郡小学校の子供の数が増え2600人を超え、
市内で2番目に大きな学校になる
- 1965年（昭和40年）紫原小学校ができて校区が分かれ約400名が移る
- 1972年（昭和47年）鴨池動物園が平川に移る
鹿児島（鴨池）空港が溝辺に移る
- 1977年（昭和52年）動物園跡に、大型商業施設ができる
- 1986年（昭和61年）日本国有鉄道郡元駅が開業する
- 1993年（平成5年）局地的集中豪雨（8.6水害）があり、その後新川
（唐湊）の川幅を広げる大規模改修工事が行われる
- 1996年（平成8年）鹿児島県庁が鴨池新町に移転する
郡元バイパスができる
- 2013年（平成25年）高麗通線ができる



(4) 近隣の環境と主な施設



中郡小学校



鴨池中学校

文教施設

鹿児島大学



鹿児島大学附属小学校



鹿児島純心女子学園



鹿児島大学附属中学校



公共施設

鹿児島市立図書館
科学館



鴨池公園水泳プール



イオン鹿児島鴨池店



鴨池市民球場



鴨池ドーム

その他

市電
谷山行きと
中央駅行きの分岐点



JR 郡元駅





① 一之宮神社



② 一之宮遺跡 (弥生式住居跡)



③ 鴨池日枝神社



④ 島津斉彬・紅ガラス製造所跡

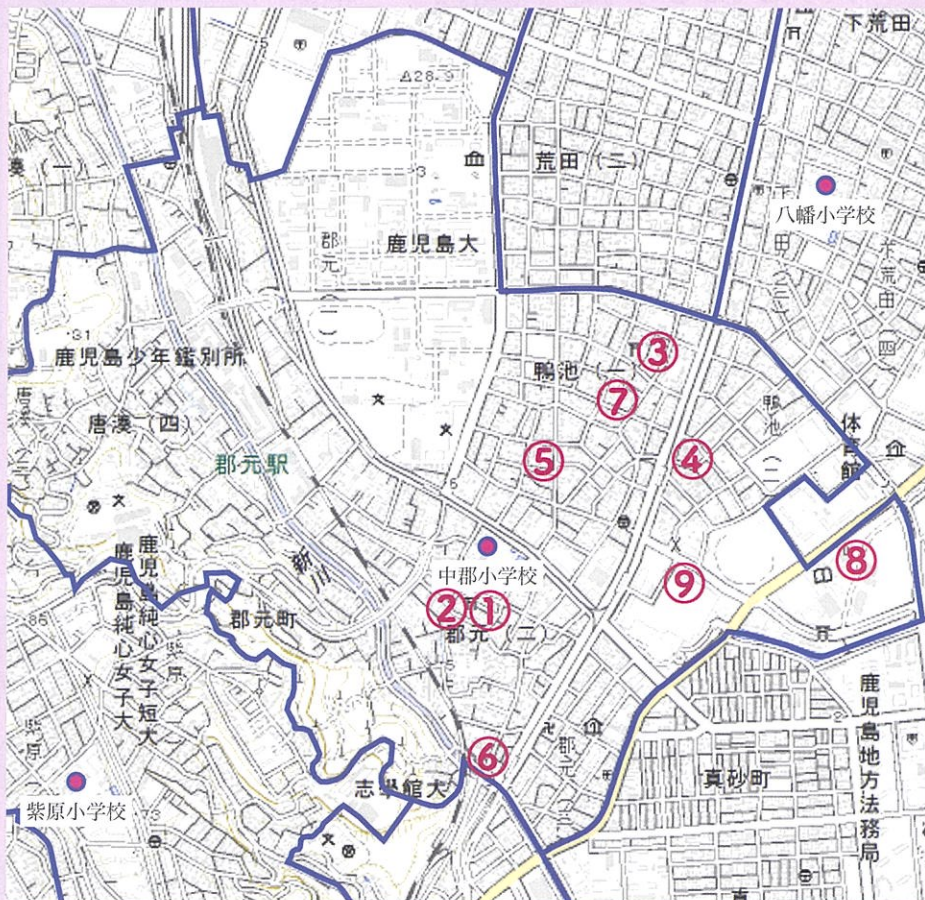


⑤ 島津斉彬・精錬所跡



⑥ 西南戦争・涙橋決戦の碑

校区の成り立ちと歴史を示すもの



⑦ 中村小学校跡



⑧ 鹿児島海軍航空隊跡
貴様と俺の碑



⑨ 鴨池動物園跡

Q. 中郡がどんな町になって欲しいですか？

事故や犯罪のない
安心・安全な町

子どもからお年寄り
ご近所同士が
つながって支え合う町

ゴミがない
花咲く綺麗な町

お互いにあいさつが
気軽にできる町

活気のある町

Q. そのためにはどうすればいいですか？

たくさんの人に
町内会に
加入してもらおう

ゴミ問題を
解決する

地域の特性を
生かした行事や
イベントをする

Q. そのための問題点や改善して欲しいことは何ですか？

町内会員の高齢化

入りたくなる町内会へ
町内会員以外の人に
意見を聞く

町内会費の検討
(一人暮らし
学生さん)

ゴミの分別の周知の
方法を考える

ゴミ捨てマナーの改善

地域でのイベントを
もっと強く案内してほしい

中郡地区で
観光できるところを
掘り起こしてみる

道路事情を改善して
子育て、お年寄り、
身障者に優しい町にする



総 会

役員会

運営委員会

事務局（校区公民館内）

会 長 1名
副会長 1名
各チームリーダー 1名
副リーダー 1名
書記会計・庶務 2名
監事（事業サポート・相談役）
2名

安心・安全な
まちづくりチーム

明るく健やかな
まちづくりチーム

学ぶ人を育てる
まちづくりチーム

- ・ 郡元町内会
- ・ 鴨池町内会
- ・ 唐湊地区町内会
- ・ 郡元三丁目町内会
- ・ 一之宮神社
- ・ 鴨池日枝神社
- ・ 西本願寺鴨池出張所
- ・ 各町内会自主防災会
連合会
- ・ 安心安全
ネットワーク会議
- ・ 中央地区交通安全協会
- ・ 中郡消防分団
- ・ 青パト（郡元、鴨池）
- ・ みまもり隊
- ・ 鴨池交番
- ・ 積善社
- ・ 内田組
- ・ 二十日会
- ・ 十八日会
- ・ 鴨池郵便局

- ・ 校区社会福祉協議会
- ・ 鴨池福祉館
- ・ 地域包括支援センター
鴨池北
- ・ 地域包括支援センター
鴨池南
- ・ 校区老人クラブ
連絡協議会
- ・ 校区民生委員児童委員
協議会
- ・ 子育てサロン
かるがもランド
- ・ 隆成会病院
- ・ デイサービス
おたふく郡元
- ・ あおぞらケアグループ
- ・ フラワー薬局

- ・ 校区成人学級
- ・ 校区女性学級
- ・ 校区家庭教育学級
- ・ 中郡小学校
- ・ 鴨池中学校
- ・ 中郡小PTA
- ・ 中郡小おやじの会
- ・ 鴨池中PTA
- ・ 校区あいご会
- ・ 学校支援ボランティア
- ・ 中郡児童クラブ
- ・ 中郡第2児童クラブ
- ・ 中郡小放課後子ども教室
- ・ 唐湊幼稚園
- ・ 鴨池幼稚園
- ・ 鴨池保育園
- ・ めぐみ幼稚園
- ・ 校区スポーツ推進委員
- ・ 校区スポーツ少年団
- ・ 地域スポーツクラブ
- ・ 南日本きもの学園

集い つながり 支え合うまち 中郡

運営方針

中郡地域は、県都鹿児島市のほぼ中央に位置し、明治以前から住む人も多く栄えてきた歴史があります。このような立地的・歴史的な「よさ」を生かして、中郡地域では住民同士のふれあいを大切にしながら、町内会や校区公民館運営審議会などの地域コミュニティ組織が取り組む青少年健全育成や、成人学級・女性学級などの学びの活動等に、協力して取り組んできました。

しかし、少子高齢化の急速な進展、住民ニーズの多様化、中郡の町環境の変化、人と人、人と地域との「絆」が弱まっている現状などを鑑み、本協議会では、「まちづくりスローガン」のもと、3つのチームを中心に、新しい活動や住民ニーズにも目を向けながら地域社会づくりを目指します。

Anshin anzen

安心・安全なまちづくり

地域の防災・防犯や
高齢者・児童等の
見守り

地域住民が
健康や福祉に
関心を持つ

Akaruku Sukoyaka

明るく健やかなまちづくり

学ぶ人を育てるまちづくり

Manabu Sodateru

あらゆる年代層が
生涯学習の
視点で

安心・安全なまちづくりチーム

■現状

- 分譲や賃貸マンションの建設が盛んに行われ、集合住宅の世帯が年々増加している。
- 学生や働く若い世代が入居する賃貸アパートも、従来から数多く存在する。
- 戸建住宅では、一人暮らし高齢者や空家の問題がある。
- 朝夕の通勤・通学時間帯、校区内の主要道路で車の通行量が一気に増えるため、子供達の安全確保が求められている。
- 住民のアンケートでは、「安心・安全なまち」を望む声が一番多い。
- 散らかっているゴミステーションがあり、まちの印象を悪くしている。



町内会 夏祭



交通安全グラウンド
ゴルフ大会



避難所運営ゲーム

■課題

- 集合住宅世帯は、町内会活動への関心が低く、積極的に参加する人が少ない。
- いろいろな世帯が関心を抱くような活動・イベント等の工夫が必要である。
- 全世帯のゴミ出しルールを徹底するのが難しい。
移動の多い賃貸アパートの入居者にも、理解を得るための効果的な方策を検討したい。
- 子供達や高齢者の交通事故を未然に防ぐために、校区内の危険箇所の発見と対処、安全指導に取り組みたい。
- まちの安心・安全を確保するため、校区内の店舗を対象に「まちの110番かけこみの家」を設置していただく活動を進める。
これにより、犯罪の起きにくいまちをめざしていきたい。
- 「災害対策マニュアル」「避難所の場所等を示す防災マップ」を整備する。



下校時の声かけ

明るく健やかなまちづくりチーム

■現状

- 高齢化が進んできている。一人暮らしが増んできている。
- 高齢者の語らいの場が少ない。
- 子育てに不安を覚えている。
- 町内会の未加入とともに「あいご会」への未加入と活動への理解が進んでいない。
- 中、高校生の行事への参加の機会が少ない。
- 地域全体で子育てをする環境が整っていない。



敬老会



説明会



実践中！

地域丸ごと見守り訓練（徘徊模擬訓練）

■課題

- 世代を超えた交流の機会をさらに設ける必要がある。
- 中、高校生を生かす、または活躍の場を設けたい。
- 地域ぐるみの見守り体制を確立する必要がある。
- 異世代の交流を図り、生きがいづくりの機会を増やしたい。
- 子育ての悩みを交換できる場を検討したい。



まち歩きウォーキング

学ぶ人を育てるまちづくりチーム

■現状

- 社会学級などの定例の学習の機会があるが、参加者が固定化している。
- 近くに公共の施設（鴨池公民館・勤労女性センター等）が多くある。
- 地域に豊かな歴史的・文化的史跡がある。
- 交通量が多い地域であるため、運動をする場所が限られている。また、イベント等の安全確保が難しい。



あいごラジオ体操ドッジボール大会



福を呼ぶお正月飾り

完成!

■課題

- 社会学級を地域の人にもっと知ってもらい、幅広い層からの参加を増やす取組みを検討したい。
- 社会学級などの毎回の講座を、校区内に広く案内するための広報紙が必要である。
- 地域の豊かな歴史的・文化的史跡を、学びの場として十分に活用できていない。それを生かし、またイベント等実現するために、安全確保や多くの人材の協力・育成が必要である。



女性学級



成人学級

目標

集い つながり 支え合うまち 中郡

基 本 方 針

住民の願いを把握し、楽しんで活動に参加できるようにするとともに、住みたくなる町づくりに取り組む。
また、地域の安全確保のための課題発見と改善に取り組む。

少子高齢化に伴う校区の課題を把握し、住民の福祉増進を図るとともに、高齢者福祉・子育て支援等明るく住みよい地域社会をつくる活動に取り組む。

地域文化の継承・発展や社会教育の推進に努め、社会の進歩に対応できる、または地域課題の解決に向けた学習活動、人づくりに取り組む。

活 動 内 容

- ・防災活動
- ・防犯活動
- ・町内会活性化事業
- ・環境美化活動
- ・交通安全活動
- ・広報活動

- ・実態把握活動
- ・高齢者福祉活動
- ・ふれあい活動
- ・交流活動
- ・団体育成活動

- ・学習活動
- ・文化活動
- ・家庭教育活動
- ・世代間交流活動
- ・健康づくり活動
- ・スポーツ大会

安心・安全な
まちづくりチーム

明るく健やかな
まちづくりチーム

学ぶ人を育てる
まちづくりチーム

- 町内会活動の連携
- 中郡フェスティバル開催
- 交通安全グラウンド
ゴルフ大会開催
- 夏祭り・十五夜・おはら
祭り参加(各町内会)
- 校区防災、避難訓練の
実施
- 清掃美化・
あいさつ運動実施
- 補導・危険箇所点検の実施
- 避難所運営ゲーム
- 「まちの110番かけこみ
の家」の拡大

- 独居高齢者の実態把握
- 子育てサロンの運営
- 地域丸ごと見守り訓練
- 声かけ、校外補導
- 異世代交流活動
- ウォーキング大会実施

- 成人・女性・家庭教育
学級の実施
- ドッジボール大会
- 餅つき大会
- ふれあい将棋教室
- 福を呼ぶお正月飾り



プラン策定チーム部会

安心・安全なまちづくりチーム

事業名	事業内容	計画スケジュール				
		2019	2020	2021	2022	2023
中郡 フェスティバル	地域の子供から高齢者まで集まって、地域の一体感を醸し出すフェスティバルを開催する。	○	○	○	○	○
交通安全 グラウンド ゴルフ大会	交通安全と地域の小学生と住民との交流・親睦を図るためのグラウンドゴルフ大会。地域の交番と消防団からも参加する。	○	○	○	○	○
「まちの110番 かけこみの家」 の拡大	校区内の商店街を対象に、「まちの110番かけこみの家」を、5年間で200店舗に拡大する。	○	○	○	○	○
避難所運営 ゲーム	避難所内の配置をシミュレーションするゲームを通して、避難所運営の課題等を検証する。	○	○	○	○	○
中郡地域防災 マップの作成	「災害時どこ避難所に行けば良いのか」地震、洪水など災害別の避難場所を示す防災マップを作成する。	○	○	○	○	○

明るく健やかなまちづくりチーム

地域丸ごと 見守り訓練	見守りの意識向上や、多世代で見守り合うという意識を醸成する。	○	○	○	○	○
焼き芋大作戦	多世代で一つのことに取り組み成果をあげることで信頼関係を生む。さつま芋も地域産を使って盛り上げる。	○	○	○	○	○
多世代交流計算 ブリッジ大会	トランプでできる簡単なゲーム 高齢者にとっては、頭の体操で認知症予防にもつながる。子供達にもわかりやすく、計算をするので、成績アップにもつながる。ちょうど良い難易度で、多世代交えるチームづくりもできて結束力も上がる。		○		○	
街歩き ウォーキング	地域住民が一緒になって、地域内を点検して回るウォーキング大会。史跡の確認、危険か所の発見、道路のゴミ拾いなど。		○		○	

学ぶ人を育てるまちづくりチーム

事業名	事業内容	計画スケジュール				
		2019	2020	2021	2022	2023
成人学級	成人を対象に、社会生活上の様々な問題や地域課題の解決方法などを学び、教養や資質の向上を図れるような講座を開設する。	○	○	○	○	○
女性学級	女性を対象に、社会生活上の様々な問題や地域課題の解決方法などを学び、教養や資質の向上を図れるような講座を開設する。	○	○	○	○	○
家庭教育学級	保護者が、家庭で育みたい大切なことや、子どもの発達課題、親としてのあり方などを学ぶ講座を開設する。	○	○	○	○	○
ラジオ体操・ドッジボール大会	あいごの子供たちが、夏休みの最初の土曜日に中郡小学校に集まり、ラジオ体操と、町内会対抗ドッジボール大会を行う。	○	○	○	○	○
ふれあい将棋教室	小学生と地域住民・大学生が、合同で将棋大会・将棋教室を開催する。	○		○		○
福を呼ぶお正月飾り	お正月に向けて、中郡地区ならではの正月飾りを作る教室を開く。	○	○	○	○	○
餅つき大会	中郡小学校で、おやじの会を中心に地域住民による餅つき大会を開催する。	○	○	○	○	○

全体会

立志の集い	中郡校区に居住する中学2年生が、14歳に成長したことを地域で祝福する。	○	○	○	○	○
コミュニティ愛称募集	愛着のある、身近な団体となるように、児童・地域の方に広く愛称を募集する。		○			
コミュニティキャラクター募集	愛着のある、身近な団体となるように、児童・地域の方や大学生等広くキャラクターデザインを募集する。		○			

〈 資 料 〉

1 策定までの経緯

年	月 日	内 容	
2017	11月	アンケート配布（地域全体）	
2018	1月19日	第1回運営委員会	プラン策定について
	2月23日	第2回運営委員会	策定スケジュールについて
	3月15日	第3回運営委員会	アンケートについて
	5月8日	第1回運営委員会	活動の計画・アンケート検討
	6月	アンケート配付（町内会）	
	6月25日	プラン策定チーム部会	意見交換・仲間づくり
	7月	アンケート集計	
	7月12日	第2回運営委員会	目標の設定
	8月24日 9月28日	プラン策定チーム部会	アンケート分析・課題・要望 チームのテーマ
	10月4日	第3回運営委員会	プラン概要検討
	11月6日	第4回運営委員会	基本方針・活動方針・計画案
	11月18日 12月13日	プラン策定チーム部会	各チームの現状と課題 具体的な取り組み
2019	1月29日	第5回運営委員会	コミュニティプラン第1次案
	2月2日	運営委員プラン検討会	コミュニティプラン第1次案検討
	3月6日	第6回運営委員会	コミュニティプラン第2次案

2 プラン策定チーム部会委員名簿

氏 名	所属団体役職等	氏 名	所属団体役職等
寶來 良治	郡元町内会長	町田 実徳	中郡小学校教頭
川原 彰夫	郡元三丁目町内会長	清水 勉	中郡消防分団長
大重 幸一	鴨池町内会長	南谷 公一	校区あいご主事
福司山宣介	唐湊地区町内会長	徳重 清子	女性学級長
水口 義夫	みまーもかごしま デイサービスおたふく事業統括	田中 舞	家庭教育学級長
満園 洋子	民児協会会長	安藤 寿代	校区スポーツ推進委員
内藤 寛	スクールゾーン委員長	郡山 泰嘉	校区地域スポーツクラブ 事務局長
川村 勝秀	中郡安心安全協会会長	永留美津代	中郡小PTA副会長
中川 博司	市老連西部地区理事	松元 謙一	学校支援ボランティア 地域コーディネーター
清水 哲也	鴨池中学校長	徳重 哲	郡元三丁目町内会役員
上田橋 誠	中郡小学校長	児玉いずみ	中郡地域コミュニティ協議会 事務局

中郡

中郡地域コミュニティ協議会

事務局 〒890-0065 鹿児島市郡元2丁目4番6号
Tel 099-203-0876 Fax 099-203-0879
E-mail info@nakagorikun.main.jp